

栃木県黒磯市ブリヂストン栃木工場火災（第9報）

平成15年9月10日
12時00分現在
総務省消防庁

- 1 発生日時 覚知 平成15年9月8日（月）12時00分（119）
鎮圧日時 平成15年9月9日（火）11時50分
鎮火日時 平成15年9月10日（水）10時30分
- 2 発生場所 栃木県黒磯市上中野10（黒磯那須消防組合消防本部管内）
ブリヂストン栃木工場
工場長 本橋 伊作
- 3 事故概要
バンバリー工場（生ゴム、硫黄、カーボン、発泡剤を混合し、タイヤの部材となるゴムの平板を製造する工場）内に8機ある精錬機の第3号機付近から出火した模様。
- 4 住民への避難指示等の状況 9月9日07時00分に解除

【参考】

避難指示対象地区（最大）：7地区 1,708世帯 5,032名

【内訳】

島方地区	191世帯	494名
上中野地区	125世帯	335名
方京地区	412世帯	1,311名
大原間地区	488世帯	1,265名
東小屋地区	306世帯	858名
沼野田和地区	83世帯	313名
下中野地区	103世帯	456名

避難者数（最大）：250名（東那須野中学校に避難）

- 5 事故原因等 調査中
- 6 被害状況
(1)人的被害 負傷者等ない模様
(2)物的被害 バンバリー工場1棟全焼

工場北側におかれていたタイヤ製品約10万本が焼損

7 バンバリー工場の概要

建面積：18,291㎡

延面積：40,885㎡

8 総務省消防庁の対応

(1) 9月8日(月) 14時00分 第1次応急体制

(2) 消火活動支援のための専門家チーム(緊急消防援助隊指揮支援部隊)の派遣

9月8日(月)

16時00分 栃木県より総務省消防庁に対し、消火活動支援のための専門家派遣要請。

16時08分 総務省消防庁職員2名、東京消防庁4名(緊急消防援助隊指揮支援部隊)の計6名を専門家チームとして派遣決定し、東京都(東京消防庁)に派遣要請。

17時30分 東京消防庁ヘリコプターにより現地に出発。

18時25分 現地指揮本部に専門家チーム到着、現地にて今後の消火活動方針(延焼防止策)について協議。

(3) 緊急消防援助隊の追加派遣

9月8日(月)

19時05分 栃木県より総務省消防庁に特殊災害部隊等の緊急消防援助隊の追加派遣要請。

〃 総務省消防庁より東京都(東京消防庁)に緊急消防援助隊の追加派遣要請。

21時30分 東京消防庁において、特殊災害部隊など25隊(緊急消防援助隊車両25台、隊員87名)が現地に向け出発。

9月9日(火)

02時09分 追加派遣部隊が現地到着、今後の消防活動について地元消防本部等と協議後、消火活動等を開始。

17時55分 緊急消防援助隊全隊は現地活動を終了、引き揚げ。

(4) 火災原因調査チームの派遣

9月9日(火) 改正された消防法に基づいて、消防庁長官の判断による火災原因調査の実施を決定し、総務省消防庁職員1名、独立行政法人消防研究所職員2名を派遣。

9 現地での消火活動の状況

(1) ヘリコプターによる消火活動等

9月8日 栃木県防災ヘリコプターによる情報収集及び消火活動、福島

県防災ヘリコプターによる消火活動を実施。

9月9日 緊急消防援助隊（東京消防庁）ヘリコプターによる情報収集活動、栃木県防災ヘリによる消火活動を実施。

。

(2) 消防車両による消火活動

9月8日 黒磯那須消防組合消防本部、応援消防本部（栃木県内14消防本部、福島県内1消防本部）、地元消防団などから消防車両110台、消防職団員約960名が泡消火剤による消火活動などを実施。

9月9日 緊急消防援助隊の無人走行放水車2台等を投入し、消火活動を実施。

火災鎮圧後、残火処理を実施。